

第 3 回 村立幼稚園職員等ワーキング・チーム会議 会議録

日 時	令和 3 年 1 月 12 日（火）午後 3 時～午後 5 時 15 分
場 所	東海村役場 原子力視察研修室
出席者	・各村立幼稚園職員（8 名） ・村立保育所及びこども園職員（4 名） ・指導室（1 名） ・子育て支援課（3 名）
次 第	* 村松幼稚園周辺の現地確認 1. 開会 2. 子育て支援課長挨拶 3. グループワーク ① 村松幼稚園への登降園時の交通手段の確保について ② 駐車場の確保について 4. 閉会

1. 開会

2. 子育て支援課長挨拶

3. グループワーク

- ・各テーマについてグループワーク形式で意見出し。
- ・グループワークに当たっては、今後の方向性を判断するための材料として、実施の可否を問わず、現時点で想定される課題とその解決方法について多方面から検討を行った。

① 村松幼稚園への登降園時の交通手段の確保について

前回の協議を踏まえた交通手段の確保策について、園バス導入のデメリットが多く挙がった一方で、自家用車での通園が困難な家庭に対しては何らかの手段が必要であるため、園バス以外の交通手段（ジャンボタクシー、個人タクシー等）について検討した。グループワークで出された意見については、次の通り。

<園バス、ジャンボタクシー、個人タクシーについて>

- ・園バスの乗降場所が幼稚園跡地になるのか？家の近くまで来てくれるのか？というような条件によって利用者数は変わるのではないか。
- ・園バスは園外保育でも活用できるが、タクシーは園に置いておくことができない。
- ・タクシーは料金も高く、保護者や行政の負担を考えると厳しいのではないか。

- ・送迎サービスを利用する家庭が少なければいいが、利用者が多くなればジャンボタクシー、さらに多ければ園バスということになる。タクシーの利用希望者が各学区で 2 家庭くらいであれば、各学区 1 台で親子 2 家庭（4 人）乗せることもできるのではないかな。
- ・園バスにするとすれば、教育的な面で考えると 1 学年全体で動けるような大型バスがいいかと思う。25 人乗りの小型バスであれば 3 台は必要になる。
- ・経験者の話を聞いたところ、私立の園バスでは、保護者と添乗者の間でトラブルが起きたこともあるようだ。自分たちが想定していないトラブルが起こり得るということも考えられる。
- ・園バスの課題点として、まず乗降場所がどこになるのかではないかな。
- ・入園説明会などのときに事前に利用したい家庭を調査すれば、どのあたりにどれくらいの利用者数があるか把握できるのではないかな。
- ・園バスでの通園であれば自家用車の通園が減るので、駐車場の課題も減るのではないかな。

②駐車場の確保について

前回、現地を確認した駐車場候補地 2 か所について、駐車場とした場合の課題とその解決方法について、意見出しを行った。

グループワークで出された意見については、別添「第 3 回村立幼稚園職員等ワーキング・チーム会議 意見出しのまとめ」のとおり。

<まとめ>

- ・次回は、村立幼稚園のニーズが低下してしまった理由と、これから取り組んでいかなければならないことについて、東海村の教育者の視点で考えてもらいたい。すでに意見交換を行っている園もあるが、各園の職員とも話し合い、改めて考えてほしい。

4. 閉会

第3回 村立幼稚園職員等ワーキング・チーム会議 意見出しのまとめ

テーマ: 駐車場候補地のメリット・デメリット(課題) 及び デメリット(課題)の解決方法

今後の方向性を判断するための材料として、実施の可否を問わず、現時点で想定される課題とその解決方法について多方面から検討を行ったものであり、決定事項ではありません。

① 東海中学校 第2グラウンド横

メリット

デメリット(課題)

デメリット(課題)の解決方法

子どもが道路に飛び出しにくい
作りになっている

交番跡地よりは
村松幼稚園に近い

場所に関すること

斜面になっている場所があり危ない

悪天候時にぬかるんでしまう

中学生の登下校や部活動など
活動と被ってしまうと危ない

車種の大きさによって
駐車できる台数が変わる

整備に費用がかかる

警備員を配置する

道路を安全で歩きやすいように整備する

ガードレールを設置する

交通安全に関すること

原研通りは交通量が多いため
出入りするときに注意が必要となる

芝生側のほうへ行く道は
せまくて車がすれ違えず
片側交互通行になってしまう

駐車場をローテーションで利用する

時差で登園し、
できるだけ利用台数を減らす

歩行者用の階段を設置する(芝生側斜面)

職員駐車場にする

原研通りの横断に関すること

下の子を連れてしていると歩くのは危ない

原研通りは交通量が多いため
横断歩道の利用ではなく
歩道橋の利用が必須となる

雨の日の歩道橋は滑って危ない

横断歩道に信号機を設置するなど
対応が必要となる可能性がある

ベビーカーを押して渡ることができない

歩道橋に屋根を設置する

すべり止めを設置する

信号機を設置する

アーケードを設置する

② 交番跡地

面積が広く、見渡しがよい

たくさん歩くことで体力がつく

親子で歩く練習になり、
コミュニケーションを取れる

交通ルールを学べる

行事などのときに
あると助かる

原研通りを渡らなくてよい

須和間方面・イオン側からは
行き来しやすい

管理に関すること

幼稚園までの道のけに凹凸があり
子どもの歩行やベビーカーに
支障が出てしまう

広いため除草作業など
管理の負担が大きい

村松幼稚園まで距離があり
車上荒らしなどの防犯面や
周辺道路の安全面にリスクがある

警備員や管理員を配置する

工事により歩きやすく安全な道路にする

ガードレールを設置する

距離に関すること

村松幼稚園まで約400m歩くのは遠い

悪天候時や荷物が多い時に
歩くのが大変になる

天候や気温に配慮が必要となる
(熱中症など)

ピストン輸送する(10人乗りワゴン車など)

立哨をつける(シルバーなど)

交通安全に関すること

原研通りは車の通りが多く危ない

原研通りが混雑していると
出入口が混合い入りにくい

駐車場に誘導係を配置する

駐車場や園のほかに
園までの道の途中にも
警備員を配置する

入口と出口を分け、出入庫は左折で
一方通行とする(右折で出入りしない)
などルールを決める

現在の駐車場との調整に関すること

交番跡地ではなく
現在の村松幼稚園裏の駐車場を
利用したい人が増加する

現在の村松幼稚園裏の駐車場が
平等に使えるように
配慮する必要がある

状況によっては、利用方法について
クレームが来る可能性がある

現在の村松幼稚園裏の駐車場を
時間差などによって
多くの人が使えるようにする